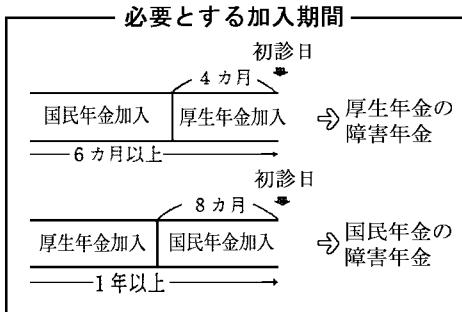


障害年金と

加入期間

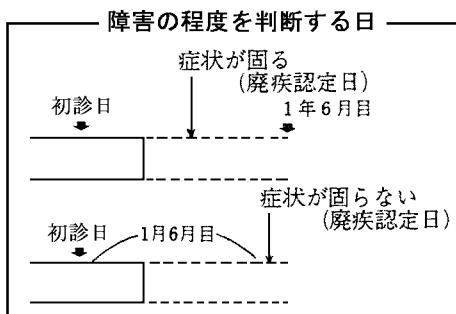


問 私は、厚生年金に二年加入し昭和五十六年二月に退職して、すぐ国民年金に加入し保険料を納めていますが、その年十一月に交通事故にあり、身体が不自由になりました。私のような場合、障害年金は受けられるでしょうか。

答 障害年金の支給要件は、被保險者が病気やケガについて初めて医師にかかった時点(初診日)で保険料の納付要件が問われます。

最近の一年以上について保険料が

納められているときに支給されますが、この期間には厚生年金など他の公的年金の加入期間も含みます。あなたの場合は、初診日の前一年以上について滞納がないので、年金法に定める程度以上の障害のとき支給されます。



改正されました

住民の多くの方が加入している国民年金は、こんどは国会(八月五日)で改正されました。改善された給付額は、拠出年金は八月から、福祉年金では九月から支給されます。なお、八月分のみ新年金として払われる予定です。このとき、年金の改定額通知書も同時に送られますので、大切に保管しておいてください。

国民年金改正表

57年8月

拠出年金		現行	改正後
老 齢	5年年金	24,367円	25,358円
	10年年金	28,625	29,792
障 害	1級 2級	56,325 45,058	58,625 46,900
母 子	・準母子年金	45,058	46,900
遺 児	年 金	45,058	46,900
福 祉	老齢福祉年金	24,000	25,100
	障害福祉年金	1級36,000 2級24,000	37,700 25,100



平均寿命の伸びによって、今後多くの人々が長い人生を歩むことになります。このことは、大変喜こぼしいことです。ですが、反面、老後の生活をどのように支えていくかという不安感をもつている方も多いのではないか。老後に備えるためには、個人の力によってある程度は可能ですが、個人の力には限度があります。このことは、大変喜こぼしいことです。

社会全体の力で老後生活の所得を保障してくれる国民年金などの公的年金ということになります。わが国の公的年金制度は、職場や職種によって加入する年金も違います。会社や工場に勤めている人は厚生年金、船員は船員保険、公務員は公務組合、その他の人々は国民年金といふように、国民のだれもがいずれかの年金制度に加入しなければならない仕組みになっています。皆年金体制なのです。

老後の生活設計は若いうちから!!

守る年金制度

「生きがい旅行」に参加を!
去る五月十八日文化会館で開催された国民年金受給者協会都留支部設立総会のなかで決定された事業の一環としてつぎのとおり「生きがい旅行」を実施いたします。会員の皆さんお誘い合せのうえご参加ください。
信州の鎌倉別所温泉への一泊会費一万五千円(一人)のところ関係機関のご協力により一万三千円です。